



# 石神井南中学校 学校だより

平成30年度 第5号  
発行日 9月20日(木)  
練馬区立石神井南中学校  
校長 田邊 克宣

## 充実の2学期に

校長 田邊 克宣

12日(水)にPTA運営委員会が開かれました。会に先立ち、一匹のモンシロチョウがひらひらと会議室の窓から入ってきました。丁度一週間前に保護者の皆様が、夏の間に生い茂った雑草を、きれいな草花に植え替えてくださった花壇を目指してのことと思います。炎天下での雑草取りは、本当にお疲れ様でした。季節はもう、秋を感じさせる空気の中、保護者の皆様のご協力に深く感謝申し上げます。

さて、2学期が始まって半月が過ぎ、生徒たちも学校生活のペースを取り戻してきたようです。

始業式では、アジア大会で一生懸命な姿を見せてくれた選手の中で、水泳の池江璃花子選手の話を取り上げました。6日間、8種目、13レースに臨む中で、「途中、体も心も折れそうになった。けれど、気力で乗り越えた。」と語ったインタビューを紹介し、一流のオリンピック選手ですらそうである、と。私たちも、ともすれば自分の立てた目標に向かう道すがら、途中で投げ出してしまうようになってしまうことがある。肝心なのは、そこであきらめないこと。目標達成のためにもう一踏ん張りすることが、悔いのない取り組みとなる。そして、その目標は、人それぞれである。皆が皆、100メートルを9秒台で走ることを目標とする必要はなく、同時に、一人一人の目標には優劣もまた、ない。自分の立てた目標に果敢に挑戦し、最後までやり遂げる人になってほしい。そして、それを互いに認め合える社会を作ってほしいという思いを込め、話をしました。

続く10日(月)の朝礼では、最近、立て続けに起こった自然災害に触れ、犠牲者を悼むと共に、一刻も早い復旧を願いながら、自分でできることについて考える必要を伝えました。地球規模の気象変動は最早想定外とは言ってられない現状があります。想定外を想定しながら、臨機応変に臨む対応力が必要です。それは、確かな知識と、それに基づく豊かな発想力に他なりません。

近年、飛躍的に発展を遂げてきたAIは、たとえば記憶力において、到底人は敵わないでしょう。しかし、そもそもAIは、人がよりよく生きていくために開発されてきたものです。そしてそれは人に限らず、地球上のありとあらゆる生命活動にとって有意義なものでなければならないはずです。そこには「人対AI」という構図はあり得なく、あくまで人が上手に活用していくことに本来の意義があるのです。そうした中、先に述べた発想力は、AIの苦手とする分野であるとのこと。そしてもう一つ、読解力もまた、AIの苦手分野であるということです。

読解力を養うのは、本を読むところから始まります。自分で文字を追い、意味を捉え、そこから思いを巡らすという脳の活動によって、徐々に培われていくのです。即席で身に付くものではありません。まずは自分で本を読むという活動を、数ヶ月、数年間継続することで、ゆっくりと蓄積されていった力が読解力となるのです。

石南中では、毎日、朝読書に取り組んでいます。8日（土）には、特に2年生のフロアが、水を打ったようにシーンと静まりかえり、皆が本と向き合っている様子が伝わってきました。修学旅行を目前に控え、その後は進路へと向かう3年生には、2年生がしっかりと後を継いでくれるので、安心してそれぞれの取組に邁進してほしいと伝えました。1年生には、すぐ隣に手本となる先輩たちがいる、ぜひそれを見習ってほしいと伝えました。

日進月歩の科学の進歩に、いつ起こるか分からない災害の危険といった中で、我々がより豊かな心をもって生きていく社会を創るために、石南中生には、2学期もまた一生懸命に日々の学校生活を送っていくことを期待しています。

保護者、地域の皆様には、ラジオ体操、地区祭、祭礼等、子供たちの健全育成に深く関わってくださり、心より感謝申し上げます。2学期もどうぞよろしくお願いいたします。

## 臨海学校を終えて

### 第1学年 河原畑 幸乃

夏休みが始まり、すぐに下田臨海学校が行われました。4日間を通して天候にも恵まれ、第1学年99名、万全の状態ですべての泳ぎに臨むことができました。実際に海で泳いでみると、「学校のプールより泳ぎやすい！」という声が多く聞こえてきました。

1日目の夜にはベルデで夏休みの宿題にも取り組みました。遠泳の日、93名が大遠泳へ、6名が中遠泳へ挑みました。大遠泳では、35分間かけて下田の海を泳ぎ、監視員の方にも褒められるくらいきれいな隊列で泳ぐことができました。学校での練習では、うまく泳げずヘルパーをつけて泳いでいた生徒が最後には、大遠泳に参加し、中遠泳でも一生懸命泳いだりしている姿にとっても感動しました。

様々なことを学ぶことができた臨海学校でした。この経験を生かして、これからの学校生活をより豊かなものにしてほしいと願っています。

